

## SNS 介した犯罪対策強化求める 殺人事件被害者遺族「宙の会」



「闇バイト」などインターネットを通じた犯罪の対策を訴える磯谷富美子さん（中央）＝東京都千代田区

殺人事件の被害者遺族でつくる「宙（そら）の会」は11日、東京都千代田区内で記者会見を開き、全国で相次ぐ広域強盗事件を受け、SNS（ネット交流サービス）を介した「闇バイト」などへの対策強化を求めた。2007年に名古屋市で起きた「闇サイト殺人事件」で長女利恵さん（当時31歳）を亡くした磯谷（いそがい）富美子さん（71）は、「また同じような事件が起きてしまった。娘の死が無駄になったようでとてもつらい」と訴えた。

闇サイト殺人事件で逮捕された3人はインターネットサイト「闇の職業安定所」で知り合っていた。一連の広域強盗事件では「ルフィ」などと名乗る指示役が闇バイトで実行役を募ったとされ、犯罪のためにネットを通じて面識のない人物が集まる手口が共通する。磯谷さんは会見で、「（広域強盗事件は）個人情報入手して、的を絞って犯行に及んでいる。当時よりも大胆で凶悪になっている」と指摘。

対策については「誰でも簡単に被害者や加害者になりうるネット犯罪は厳しい刑罰を設けて抑止力にすべきだ。同じ事件が繰り返されないことを強く願っている」と話した。

また宙の会は会見に先立ち、コロナ禍以降中止していた総会を3年ぶりに開催。国が遺族への損害賠償を立て替えたうえで加害者に請求する「代執行制度」の導入のほか、犯人のDNAを似顔絵作成や年代推定などに活用できるようにするための法制化を求めていくことを確認した。今後、国に関連の要望書などを送る。

宙の会は09年に結成。10年に殺人罪などの公訴時効撤廃を実現した。【鈴木拓也】